

# 肝臓専門医に聞く

富山労災病院 消化器科部長

あたらし  
新敷  
よしなり  
吉成



H28年 新病院完成予想図

## 一生に一度は、肝炎ウイルス検査を受けましょう



綾小路きみまろさんが、ウイルス性肝炎のテレビCMをされていますが、魚津市民の皆さまは肝炎ウイルス検査を受けられたことがあるでしょうか？ もし受けたことがなければ、まず検査を受けていただきたいと思います。

肝炎ウイルスの検査は、魚津市内なら新川厚生センター魚津支所（月曜13時～15時受付）、青山内科、富山労災病院で、無料で受けることができます。また、市が実施する肝炎ウイルス検診（6～9月）もあります。ここで言うウイルス性肝炎とはB型肝炎、C型肝炎のことです。B型肝炎は約1%、C型肝炎は約1.8%感染している人がいると考えられており、決して少ない病気ではありません。感染していても肝機能検査が正常な場合があり、通常の検診だけでは発見できない可能性があります。

これほどウイルス性肝炎が問題となる理由は、肝がんの原因となることがはっきりしているからです。肝がんは日本では肺がん、胃がんについて3番目に死亡者数の多いがんで、B型・C型肝炎ウイルスが原因の80%以上を占めています。肝炎ウイルスに感染している方のほとんどは無症状です。症状が出てから受診することは極めて危険です。なぜなら、B型・C型肝炎は気づかないうちに慢性肝炎、肝硬変、肝がんへと進行していく病気だからです。残念なことですが、黄疸、腹水など肝臓の病気に特有の症状で受診され、治療のほどこしようがないほど進行した状態の患者さんにしばしばお会いします。

ウイルス性肝炎の検査で感染がわかれば放置せずに、すぐに専門医のいる医療機関を受診してください。ウイルス性肝炎の治療はかなり進んでおり、B型肝炎はウイルスが増えることを抑える薬ががんの発生を抑えることがわかっています。C型肝炎はペグインターフェロン治療などで8割以上体からウイルスを追い払うことができるようになりました。毎年のように新しい治療薬が開発され、副作用は少なくなり効果の面でも向上しています。治療にお金がかかるのではと心配されるかもしれませんが、ウイルス性肝炎の治療には医療費助成制度があり、治療費が高額になっても自己負担額が軽減されます。

医療費助成制度についてくわしくは、富山県健康課または新川厚生センター魚津支所にお問い合わせください。一生に一度は、肝炎ウイルス検査を受けましょう。

＜健康診断部では、「精密検査必要」と言われた方の受診予約（電話）を受けています。＞

待ち時間が少なく、スムーズに受診を受けられます。特にお仕事をされている方、多忙な方はどうぞ地域医療連携室（下記）にご連絡ください。

直通 0765・22-1354（平日9:00～16:00）

富山労災病院では、緊急に受診を希望される方の受付を行っています。

症状を自覚した時、夜間・休日の救急外来の時間まで待たずに来院してください。

事前に電話されるとスムーズに診療できます。

電話 0765-22-1280（病院代表）